

令和4年4月28日

ビブリオトーク

4月21日のビブリオトークが茨城新聞（4月28日付け）に掲載されました。

お薦めの一冊紹介 藤代高でビブリオトーク



お薦めの本を紹介する生徒たち＝取手市毛有の県立藤代高

「きたいので頑張りたい」と話した。

セミナーでは初めて保護者も参加し、企業の説明を受けた。進路指導主事の清浦昌之教諭は「就職後のミスマッチが生まれないように保護者にも参加してもらった。生徒が活躍できる職場を見つける後押しをできれば」と強調した。

（綿引正雄）

県立藤代高（取手市毛有）で21日、生徒が自分の推薦する本を紹介し合う「ビブリオトーク」が行われた。

1、2年生が参加し、発表を通して本への興味を深めた。

同校では、生徒の読書への興味を高めるため、3年前から「探究の時間」を利用してビブリオトークを開いている。生徒らはグループに分かれ、持ち時間3分で、あらすじ、選んだ理由、心に残った一節などを交えてお気に入りの1冊を紹介した。

2年の磯山ひなたさん（16）は井伏鱒二著「黒い雨」を取り上げ、「国家による民間への無差別攻撃で多くの人が殺される事実を、過去のことと捉えてはいけな」と感じた。などと感想を述べ、ロシアによるウクライナ侵攻と合わせて紹介した。

磯山さんは「こういう本もあるんだと、自分が知らない本を知ることができるの」と話した。秋山克巳校長は「生徒が本に接する機会の一助になれば。友達を知り交流も深める時間にもなる」と話した。

（黒羽根勝弘）